

2020 年度神戸大学国際人間科学部発達コミュニティ学科アドミッション・オフィス（AO）入試問題
表現領域受験（美術受験）筆記試験
『出題の意図・評価ポイント』

美術に関する基礎的知識及び美術文化全般に対する関心の深さと理解力を問う検査

- ※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。
- ※2 配点(素点)は入試問題に記載してあります。
なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、2020 年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

出題においては、美術作品の理解能力と、理解内容の論理的叙述能力をみることを意図している。出題作品は「高校美術」で扱う範囲から分野に偏りのないように選び、写真（問題1）、絵画（問題2）、彫刻（問題3）、グラフィックデザイン（問題4）とした。各作品につき理解の鍵となる用語（概念）を各2つ提示し、叙述では必ずこれら2つの用語を用いることを求めている。これは、作品理解能力を、恣意的な感想レベルではなく、論理的把握とその適切な叙述によって検査しようとい意図したからである。

評価においては、①与えられた2つのキーワードを概念レベルで理解しているか、②その概念を作品個別の具体性に妥当性をもって適用しているか、③その結果得られる理解を正確に叙述しているか、の3点を総合的に評価するものである。